



TOEIC® Programで未来の可能性を広げる

NEWSLETTER

ニュースレター

未来を
変えたい
人に。

松野 太郎さん
(サーフィン)

河野 碩資さん
(フェンシング)

松野 杏莉さん
(サーフィン)

インタビュー

スポーツの世界でも

英語力は大きなアドバンテージになる!

Contents

【特集】高校生アスリートが語り合う!

スポーツに国境はない!

英語を世界で戦うチカラにする

▶ My Career Story

ギネスワールドレコーズジャパン代表 石川 佳織さん

▶ TALK! わたしが英語を学ぶわけ

「何歳からでも夢中になれる!」

▶ HOT WORD

“bleisure”

スポーツに国境はない！

英語を世界で戦うチカラにする

スポーツを通じて世界に挑戦する若きアスリートたちにとって、「英語」は乗り越えるべきハードルのひとつです。今回、アスリート伴走型支援プロジェクト「アスバン」の協力で、フェンシングとサーフィン、それぞれのフィールドで活躍する3名に、ご自身の経験や英語を学ぶ意義について、語り合ってもらいました。

まずは自己紹介をお願いします。

河野 僕は小学校低学年からフェンシングをやっています。フェンシングはポイント先取で勝敗が決まり、試合中はかなりの駆け引きが求められますが、そこにおもしろみを感じています。現在、高校の部活で練習するほか、大学生の練習やNTC（味の素ナショナルトレーニングセンター）での練習にも参加して、腕を磨いています。

杏莉 私はサーフィン好きな両親の影響で、3歳からサーフィンをしています。本格的にプロを目指そうと思ったのは小学5年生のときです。波の上に立って滑る感覚は他のスポーツにはない特別なものですし、海に溶けていくかのように沈む夕日など、自然はとてもきれいで、そこに魅力を感じています。普段は千葉の海岸を拠点に、弟の太郎と朝夕練習を重ねています。

太郎 僕も3歳からサーフィンをしています。きっかけは姉や両親で、小学2年生頃から大会に出るようになりました。毎日、

海に入っていますが、波の大きさや潮の加減で毎回状況が違うので、飽きることがありません。

3名とも国内でトップクラスの成績を残し、すでに海外遠征もいくつも経験してきたことと思います。

河野 僕はフェンシングを通じ、中東の国々からヨーロッパまで幅広く遠征に行きましたが、そこでのコミュニケーションは英語です。また、コーチもフランス人などの外国人がつくことがあります。彼らは日本語も少し話せますが、専門的な技術指導や細かいニュアンスはやはり英語のやり取りが中心ですね。

杏莉 競技中もよく英語を使うんですか？

河野 使いますね。たとえば「今の攻撃が有効かどうか」といった判定を巡って、選手が審判に抗議（確認）するシーンが頻繁にあります。国際試合では審判も外国人で、英語でのやり取りが求められます。そこでしっかり自己主張するのもまた技術の1つであり、時に試合の勝敗も左右します。実際に、熱くなってしまつてとっさに英語が出ず、悔しい思いをしたこともあります。

杏莉 英語力が競技判定にかなり影響するんですね。

太郎 サーフィンだと、審判と直接言葉を交わすようなシーンはありませんが、それでも英語を聞き取れないと不利になることはあります。試合では、同時に複数の選手が海に入り、海上にいるときに、そこまでの得点や残り時間などがアナウンスされます。風や波の音が響くなか、その英語が聞き取れないと状況判断を誤り、減点や敗退にもつながりかねません。

杏莉 私は競技以外でも「もっと英語ができればいいな」と思うことがよくあります。同世代の女の子たちが楽しそうに笑いながら話しているのを見ればうらやましく感じますし、いい結果が出たときなど、せっかく同世代の選手やその父母が「Amazing！」



フェンシング選手
かわの たか すけ
河野 碩資さん（高校3年生）
姉の影響で競技を始め、2023年よりU17サーブル日本代表として海外遠征に参加。アメリカへの挑戦も視野に入れている。2025年オリンピックネスト強化指定選手。

と話しかけてくれたのに「Thank you」しか言葉が出ず、会話が終わってしまう……。本当はもっと自分の気持ちや考えを伝えたいけれど、なかなかうまくいきません。

英語力が上がることで、競技にはどんなメリットがあると考えていますか？

杏莉 海外の選手たちに、テクニックや練習法などを直接聞くことができれば、間違いなく成長につながりますね。

太郎 サーフィンは、日本よりも世界の方が、圧倒的にレベルが高い競技ですからね。

河野 フェンシングも同じで、発祥の地であるフランスや、イタリア、ロシアなどにハイレベルな選手が多くいます。彼らと言葉の壁なくコミュニケーションが取れば、一緒に練習もできるでしょうし、交流を通じて得られるものは大きいと感じます。

太郎 あとは、メンタル面でもメリットがあると思います。僕は海外に行つて英語でなにかをすることに不安を感じ、ややストレスになっています。それがなくなれば、もっといいメンタルで競技に臨めそうです。

皆さんにTOEIC Bridge® Testsを受験していただきましたが、手応えはいかがでしたか？

杏莉 自分の苦手な部分がよくわかりました。たとえば、写真を見て自由に説明するような問題は、なかなか言葉がすっと出てきませんでした。

河野 僕も同じです。自分に足りないのはスピーキング力だと実感しました。他の技能は学校でも学習できるんですが、ス

ピーキングは練習する環境がありません。

杏莉 現時点での自分の英語力を確認するという意味でも、定期的に受けたいと思いました。

太郎 スコアが上がっていけば、自信にもつながりますからね。

今後、英語力を磨いてどんなことを実現したいですか？

河野 まずは海外の選手と自然な会話ができるようになります。そのためには、海外の選手にどんどん話しかけたいですね。英語はフェンシングに限らず、将来のキャリアを考えるうえでも重要だと思っているので、実力を上げたいです。

杏莉 私は、友だちになった海外の選手たちと、もっと深いコミュニケーションがとれるになりたいです。サーフィンの話から恋バナまで、いろんな話ができれば、吸収できることは多いだろうし、サーフィンももっと楽しくなと思います。

太郎 たしかにそうですね。試合の合間に一緒に食事をしたり、ゲームをしたり。そういう仲間ができると、自分のモチベーションも上がります。個人的にも、将来アメリカの強豪チームに入りたいという夢があり、上を目指すなら確実に英語が必要なので、しっかり学んでいきたいです。

アスリート伴走型プロジェクト「アスバン」とは？

株式会社ケーダッシュセカンドが、将来のスポーツ界を担う若きアスリートの活動を支援するプロジェクトです。IIBCはアスバンと連携し、TOEIC Bridge Testsの受験機会と学習教材を提供することで、アスリートの英語力向上を後押ししています。



詳しくはこちら



『IIBC NEWSLETTER』では、今後もアスリートの英語の取り組みを誌面で紹介していきます。



サーフィン選手
まつ の たろう
松野 太郎さん（高校1年生）
両親と姉の影響でサーフィンを始め、14歳でJPSPAプロに公認。国内外で活躍。2025年、オリンピック強化指定選手に選出。



サーフィン選手
まつ の あん り
松野 杏莉さん（高校3年生）
幼少期よりサーフィンを始め、14歳でJPSPAプロに公認。2023年に女子の年間ランキング3位に。オリンピック強化指定選手。

My Career Story

～明るい未来の描き方～



英語力を軸に積んだキャリア。
原動力は「楽しい」という
ポジティブな気持ち。

ギネスワールドレコーズジャパン代表

石川 佳織さん

日本での勤務経験を経て2000年代初頭に渡英。
2007年よりギネスワールドレコーズ本社に勤務。世界をまわり、立ち会った記録挑戦は500を超える。
2012年日本支社に異動後、2019年代表に就任。

70年前にイギリスで始まったギネス世界記録®。日本人初の認定員として
世界中で奇跡の瞬間に立ち会ってきた石川佳織さんにお話をうかがいました。

新たな経験を求めて ギネス世界記録本社へ転職

私は音楽を通して英語に夢中になりました。中学生の頃ビートルズの大ファンになり、自然と他のイギリスのバンドにも興味が広がりました。英語はもちろんイギリスの文化にとってもポジティブなイメージを持っていたことが、学びの大きな原動力になったと思います。

いずれイギリスに住みたいという理由から、大学では英語を専攻

しました。周囲は帰国子女で英語の堪能な人が多く、初めて挫折感を味わったのもこの頃でした。そんななか、イギリスのマンチェスターに留学し、独特の方言に苦労しながらも、好きな音楽を通じて現地の人との交流を深められたことが、自信につながり、気持ちを軽くしてくれたように思います。帰国時には「また来たい」ではなく「また帰りたい」と思うほどでした。日本で就職し、お金を貯めて、再びイギリスに“帰る”ことができました。

その後、ロンドン大学のプレマスターコースで言語学を学びながら大英博物館で働き始めました。歴史と文化が凝縮された場所

で、博物館の生き字引のような職員と働ける最高の環境でした。

当時の環境に満足しながらも、新たな世界を見たいと思っていた頃、日本語のできるスタッフを募集していたのがロンドンに本社があるギネスワールドレコーズでした。求人募集の時点では社名も仕事内容も知らされておらず、詳細がわかったときは驚きつつも、俄然興味が湧きました。

採用にあたっては、「自分で考えて行動できるか」はもちろん、「何かに打ち込んだ経験はあるか」ということが重視されていたように思います。「音楽が大好きで、バンドを組んでいます」と話すと、興味を持ってくれましたね。多くの国から人材を募っていた幸運も重なり、日本人で初めての認定員となりました。

“見知らぬ土地でも仲間を築いてきた” それが、働く自分を支える力に

認定を行う現地には基本的に一人で行きます。大勢の人が挑戦に参加する場合は、私だけでは目が行き届きませんから、現地の運営側にチェックするスタッフの用意をお願いします。指示を出し、適切に動いてもらうことも大切な役目です。初めて行く土地、初めて会う人たち、英語力も様々。だからこそ、事前に文化風習や名物料理などをリサーチするようにしています。これは大英博物館で大勢のスタッフと働いていた頃に学んだことです。イギリスは、音楽とサッカーの話題になると、熱く盛り上がります。ベストを尽くせる環境づくりの一つとして、相手を知り、大切にしようという気持ちを示すことで、よいコミュニケーションが生まれるものです。

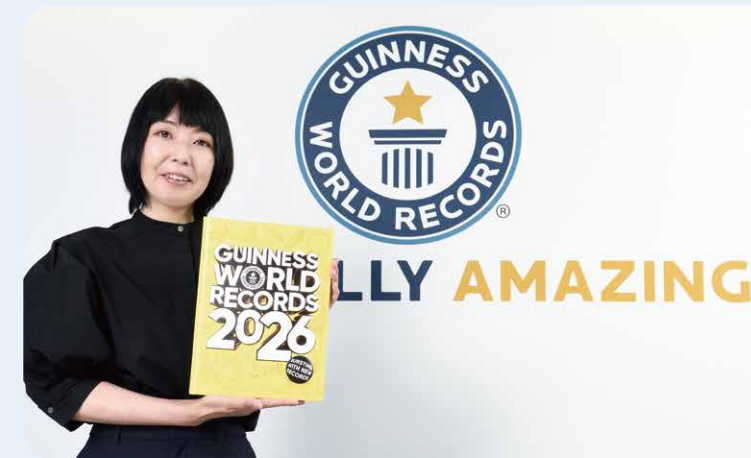
挑戦の日に至る過程を知っている認定員にとって、もし残念な結果であれば、悔しい気持ちにもなります。でも、そこを曖昧にしてはギネス世界記録へのリスペクトが失われてしまうので冷静な視点が不可欠です。さらにルールを伝えるときや、正式な記録として登録するときには、徹底した正確さが求められます。専門用語も多く、慣れるまでは戸惑うこともありました。そんなとき、私を支えたのは、“これまで、見知らぬ土地であっても、熱意をもって人と関わることで仲間を築いてきた”という自分への誇りのような気持ち

だったのだと思います。

これまで約30カ国を訪れ、携わった記録は500を超えます。一つひとつが本当に思い出深いですね。雪だるまの数を凍えながら数えたり(笑)。アメリカの小さな町で行われた、コインを並べる挑戦の認定のときは、皆さんが大いに盛り上がって、存分に楽しんでいる姿が印象に残りました。空港から何時間もかけて到着した私を温かくもてなしてくれたこと、あちこちに歓迎の旗が飾られた風景は、幸せな記憶です。

挑戦の内容は千差万別ですが、世界一を目指す皆さんからは明るいエネルギーがあふれています。そのエネルギーが絆を生み、地域の交流が再び活性化することもあります。そんな物語を間近で見られることが、一番の醍醐味です。

現在は帰国し、ギネスワールドレコーズジャパンの代表になりました。代表として日本オフィスの運営に携わっているため、認定員としての活動からは一歩退いていますが、今でも現場の雰囲気が大好きです。緊張感あふれる現場で働く認定員には、あらためて尊敬の気持ちを強く感じています。ギネス世界記録への信頼は、関わる人すべての誠実さが支えています。それを守りつつ、誰もが世界一になれるというワクワク感を発信していきたいです。個人的な夢は、認定員として訪れた地に再び足を運ぶこと。繰り広げられた物語の続きを自分の目で確かめてみたいですね。



世界100カ国以上で販売されてきた「ギネス世界記録」。2026年版の日本語版は11月20日に発売

》石川佳織さんのキャリア「これまで」と「これから」



TALK!

わたしが英語を学ぶわけ

[第3回 トークテーマ]

何歳からでも夢中になれる!

様々な英語学習者の実態を探る連載の3回目。今回は長いブランクを経て、近年本腰を入れて学習を再開したお二人が登場。始めたきっかけや、英語を楽しんで学び続けるコツについてトークしました。



コピーライター **新井 明人**さん (60代)

主な英語使用場面：子どもの英語学習サポート
中学時代から英語が好きでビートルズなどの洋楽を愛好。結婚や子どもの学習をきっかけに英語学習を再開。留学生の受け入れも経験。

輸入雑貨店経営 **松下 由美**さん (60代)

主な英語使用場面：インバウンド接客
企業の海外事業部などを経て、雑貨店を経営。英語の必要性を感じつつ本格的に学び直し始めたのは実は60代。TOEIC L&Rを定期的に受験中。

新井 40代半ばに英語が得意な妻と結婚したのを機に、英語学習を再開しました。その後、息子が生まれてしばらく中断していたのですが、英語学習を始めた息子に刺激を受けて、もう一度取り組み始めました。もともと英語にはそれなりに自信があったのですが、小学生向けの英語教材の内容を忘れていたときはショックでしたね。「これはいかな」と思い、気合いが入りました。

松下 私も40代半ば頃、母の雑貨店を引き継いでから海外の仕入れ先やお客さんと話す機会が増えて、英語の必要性を感じるようになりました。ちょうどその少し後にSNSサービスが普及して、海外の方たちと英語でメッセージをやり取りできるようになったこともあり、少しずつ英語の使用を再開した感じです。

新井 私は仕事で英語を使う機会はほぼないのですが、わが家では数年前からホストファミリーとして非英語圏からの留学生を受け入れています。彼らとの様々なやり取りのなかで、間違いをおそれずに英語をどんどん口に出して会話を続けることの大切さがわかりましたし、英語習得への意欲が高まりました。

松下 実は、私が真剣に英語学習を始めたのはコロナ禍以降で、2023年に初めてTOEIC L&Rを受験しました。まずはTOEIC公式教材で勉強を始めたのですが、文法などの基礎を自分がよく知らなかったことに愕然としました。それまでは「なんとなく」で切り抜けていたんですね。それから単語や文法をたくさん覚えて、最初の受験結果は640点。回を重ねるごとにスコアが上がり、2回目が680点、3回目で770点に。1年後には800点まで上がりました。

新井 それはすごいですね。私は20年ほど前のTOEIC L&Rが

780点で、そこから中断しているので、いったん800点超を目指しています。今はラジオの英語講座を活用してリスニングとスピーキングを中心に取り組んでいます。昔は放送を聞き逃したら終わりでしたが、今はパソコンなどで何度でも聞き直せるのでありがたいですね。発音を確かめながら、繰り返し練習しています。

松下 私たちの学生時代と比べると、夢みたいに便利な時代になりましたよね。私も様々なツールを活用しています。たとえば生成AIに「この状況にはどちらの単語がふさわしい?」と質問したり、英作文を翻訳サイトで照合したり。イギリスのBBCが開催しているSNSライブ配信にも参加して、世界中の人たちとリアルタイムで直接メッセージをやり取りして力をつけています。

新井 今では、英語が自分のアイデンティティの一部になっていると感じています。趣味の音楽でも、好きなCDのライナーノートを読んで、背景や制作意図を理解できるようになりました。

松下 私も「英語は知るほどに楽しい」と実感しているところ。TOEIC L&Rの学習を通じて英文の構造がわかるようになり、むしろ若い頃よりも今のほうが、英語力が高くなっています。日々のよい脳トレにもなっていますし、幸せな時間を過ごせています。

新井 これまで継続した学習にはあまり縁がなかったので、英語は末永く続けたいですね。身についたつもりでも抜け落ちることがありますし、耳も少し鈍ってきているので、基礎を繰り返しながら補っていくつもりです。息子はもうすぐ受験生になるので、彼に負けたくない気持ちもモチベーションになっています。

松下 素敵ですね! 今は独学に向く便利なツールがたくさんありますから、皆さん、年齢を気にせず取り組んでほしいですね。

HOT WORD

“bleisure” [ˈbliːʒər]

意味 **出張休暇**
ブレジャー(ブリージャー)

世界中で働き方の多様化が進む昨今、“bleisure”が注目を集めています。“business”と“leisure”をつなぎ合わせた比較的新しい言葉で、日本語では「出張休暇／ブレジャー」と訳されることもあります。アメリカ英語の発音は“ˈbliːʒər”(ブリージャー)となるので、注意が必要です。

意味は、出張などに観光や休暇などの要素を組み合わせること。コロナ禍を経てリモートワークが定着したビジネス環境で、出張が再開したことを背景に、ビジネスとレジャーを合わせるスタイルが広まっているようです。企業側がよい人材を確保するために、従業員のワーク・ライフ・バランスを重視するようになってきているとも言えますね。ある調査では、ブレジャー市場が今後大きく成長すると予想されています。

単体では冠詞なしの名詞として、たとえば、“He added two days of bleisure after his Tokyo meetings.”(彼は東京での会議の後、2日間の出張休暇を追加した)というような使い方ができます。また、tripやtravelなどと組み合わせて使うことも多いので、覚えておくとう便利です。



Illustration: 本田佳世



NOBU(山田暢彦)さん

アメリカ育ちのバイリンガル英語プロ講師。現在NY在住。幅広い受講者に実践的な英語を指導している。TOEIC L&Rスコア990点。

“bleisure”の使い方はウェブで公開中!



TOEIC® Program Q & A

Q 「デジタル公式認定証」とは何ですか?

A 利便性の向上を狙い、TOEIC Programの公式認定証をデジタル化したものです。

TOEIC Programの公開テストでは、すべての受験者に対して2023年4月よりデジタル公式認定証を発行しています。ブロックチェーン技術を活用し、テスト結果の改ざんを防ぐ強固な偽造防止策を講じています。

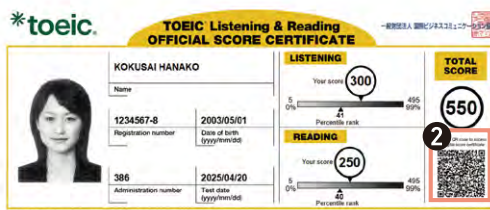
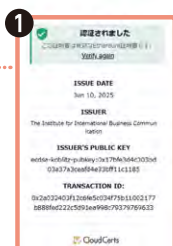
デジタル公式認定証は、TOEIC申込サイトのログイン後のページに表示されるURLから確認できます。企業や学校には、URLを直接提出することが可能です。PDFをダウンロードしてデータを利用したり、紙に印刷して提出することもできます。



デジタル公式認定証のイメージ

1 公式認定証の真正性を確認できる。

2 QRコードを読み取るとデジタル公式認定証が表示され、内容が一致すれば本物と確認できる。



3 Score Descriptors(レベル別評価)やABILITIES MEASURED(項目別正答率)などの情報も表示される。

4 すべての表示された状態のPDFをダウンロードできる。



[INFORMATION]

●本番のテストを体験できるシリーズ最新刊

『公式TOEIC® Listening & Reading 問題集12』発売

累計発行部数250万部の人気シリーズ最新刊の書籍版とアプリ版を、2025年10月19日「TOEICの日」に同時発売しました。アプリ版は、TOEIC公式教材アプリ内で購入できます。

特長

1. 本番のテストと同様にETSが制作したテスト問題2回分(計400問)を収録。
2. 問題文や設問は本番のテストと同じ公式スピーカーによる音声を収録。
3. リーディングセクションの読み上げ音声をダウンロードできる特典付き。



TOEIC公式教材アプリのダウンロードはこちらから
※TOEIC公式教材アプリのダウンロードは無料です。

Google
Play



App Store



書籍版

3,630円(税込)

本番の問題用紙と同じサイズ・配置の構成で、付属のマークシートを用いて本番さながらの演習ができます。また、アプリに搭載された無料の「自動採点マークシート機能」を活用すれば、演習後すぐに答え合わせが可能です。



アプリ版

3,300円(税込)

アプリならではの機能を活用して、場所を選ばず効率的な学習ができます。

模試モード:タイマー機能で時間を計りながら200問を体験できます。

学習モード:自分のペースで問題を解き、わからない問題はすぐに解説を確認できます。

レーダーチャート:各パートの正答率を確認し、間違えた問題だけを抽出して復習できます。



●10月19日は「TOEICの日」!

英語体験プログラム「RESTART with TOEIC® Tests」を実施



10月19日を「TOEICの日」と制定し、毎年、英語に触れ、その楽しさを感じてもらうための様々な取り組みを行っています。今年は、「もう一度、自分に挑戦したい」方を応援する体験プログラム「RESTART with TOEIC Tests」を実施しました。

英語学習を始めた方や再挑戦したい方に向けて、英語を使った4つの特別な体験を用意しました。事前にTOEIC L&Rを受験していただき、今の

英語力を確認。その後、英語を楽しみながら挑戦することで、夢や目標への一歩を踏み出すきっかけをお届けしました。

体験の様子は、特設ページから動画でご覧いただけます。

4つの体験

1. 英語で外国人と交流!
“寿司職人体験”
2. 子どもと英語でコミュニケーション!
“英語の先生体験”
3. ウィッキーさんと話そう!
“RESTART英会話 with ウィッキー”
4. FC東京所属の海外選手と会える!
“英語でインタビュー体験”

特設ページはこちら



あなたが世界をつなぐ
あなたと世界をつなぐ

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

IIBC公式サイト <https://www.iibc-global.org>

外部からの寄稿や発言は、必ずしも当協会の見解を表明するものではありません。

本誌は公式サイトでもご覧いただけます。

https://www.iibc-global.org/iibc/activity/iibc_newsletter.html

IIBC NEWSLETTER

検索



【お問い合わせ】

広報課 pr@iibc-global.org